

有効期間満了：2010年12月31日

案件名	伊香保温泉旅館協同組合加盟旅館・ホテルにおけるカーボン・オフセット
申請者	株式会社 JTB 関東
案件の概要	「伊香保温泉旅館協同組合」加盟宿泊施設における、1室あたりの電力使用に係る CO2 排出量を算定し、組合を中心とした宿泊客参加型の排出量削減活動を実施するとともに、平成 21 年 12 月より組合に加盟する宿泊施設に宿泊した宿泊客 10,000 組（室）を対象に、1室あたり 5kg 分の排出量をカーボン・オフセットする。
認証区分・タイミング	I-1（商品使用・サービス利用オフセット） 事前認証時及び事後確認時
カーボン・オフセットの主体（帰属先）	申請者の提供する商品・サービス等の購入者
算定範囲	1. 対象活動・時期 昨年の実測値に基づき、旅館・ホテル等宿泊施設における宿泊（1室）にかかる電力使用に伴う CO2 排出量を対象とし算出 2. 対象エリア 伊香保温泉旅館協同組合 加盟宿泊施設
オフセット量 / 算定排出量	50 t-CO2 / 50 t-CO2
クレジット種別	京都クレジット（種類：CER）
プロジェクト名	ブラジル水力発電プロジェクト (Braco Norte III Small Hydro Plant) CDM 参照番号 0667
無効化日	平成 22 年 2 月 23 日
情報公開	1. カーボン・オフセットに関する説明 【カーボン・オフセットとは】 自分の温室効果ガス排出量を認識（見える化）し、どうしても削減できない量の全部又は一部を他の場所での排出削減・吸収量でオフセット（埋め合わせ）することをいいます。 【地球温暖化対策の喫緊性】 現在、地球温暖化は世界規模で対応が迫られている問題であり、その原因とされる二酸化炭素（CO2）をはじめとした温室効果ガスの削減は、国際的な最重要課題です。 【自社の削減努力】 JTB 関東オフィス内の空調温度管理の徹底、未使用会議室・スペースのこまめな消灯、資料・報告文書のペーパーレス化等の排出量削減努力を実施。

【消費者の削減努力促進】

JTB 関東は、「旅をしながらエコロジーを考える機会をお客様（旅行者）に提供する」ことをコンセプトに、旅行によって排出される CO2 をグリーン電力の購入によって相殺する「CO2 ゼロ旅行®」をはじめとし、「GREENSHOES®」ブランドで、エコに貢献できる新しい地球人のための旅を企画・展開。

さらに、旅館・ホテル等の宿泊施設で使用される客室入り口のドアノブに掛ける掲示物へ、以下の項目等の省エネチェックリスト型表示を行い、宿泊客の省エネ取組への参画を促す取組みを実施した。

- 無駄な電気をコマメに消した。
- 水・お湯をコマメにとめた。
- マイ箸、マイ歯ブラシを持参した。

2. オフセットの対象

【対象活動】

旅館・ホテル等宿泊施設における、1 室あたりの電力使用に係る CO2 排出量を対象。

【対象者】

伊香保温泉旅館協同組合 加盟旅館・ホテル

3. 算定量・算定方法

【算定式】

原単位法を利用

電力使用量原単位=0.418kg/kWh（東京電力環境報告書より）

【活

参照：<http://www.tepco.co.jp/csr/report/download/2009/017-j.pdf>

【活動量・排出係数とその根拠等】

活動量は、各宿泊施設から収集する電力使用に係る被請求データから得られる情報を使用。

- ・伊香保温泉旅館協同組合宿泊施設 52 軒の 1 ヶ月分の CO2 排出量=883t（※1）

※1 某旅館の 1 ヶ月分データを基に客室数案分で全体量試算。

なお、試算にあたっては季節要因は考慮していない。

- ・昨年 12 月の伊香保温泉全体の宿泊者数 111,742 人/泊
- ・1 室当たりの平均宿泊者数 2.5 人（概算）

以上から、本件販売開始予定の平成 21 年 12 月 1 日～一ヶ月間稼働客室数見込みを、44,697 室と仮定。

- ・1 室あたり CO2 排出量=約 20kg（883t÷44,697 室）

【対象とする活動とオフセットとの関係性】

平成 21 年 12 月 1 日以降、組合に加盟する宿泊施設に宿泊した宿泊客のうち、

10,000 組（室）を対象に、1 室あたり 5kg 分（1 室あたり CO2 排出量の 25%）の排出量をカーボン・オフセットした。

4. クレジットタイプの説明

京都クレジット（種類：CER）

5. クレジットの調達状況・無効化方法（調達期限・通知方法）

ビリングシステム(株)において調達済みの上記クレジットを、あんしんプロバイダー制度加盟事業者である、ジーコンシャス(株)の保有口座へ移転したうえで、日本政府償却口座へ移転することにより、平成 22 年 2 月に無効化手続きを行った。

6. プロジェクト情報

【プロジェクト名称】

ブラジル水力発電プロジェクト

(Braco Norte III Small Hydro Plant) CDM 参照番号 0667

【プロジェクト概要】

本プロジェクトは、アジア向け農業ビジネスが急速に成長しているマット Grosso 州で、総発電量 14.16MW の貯水池を有する小規模流込式水力発電事業を実施している。電力の需要が急増しているこの地方に再生可能な水力発電事業を実施したことで、温室効果ガスを排出しない電力が供給されるようになり、年間 40,026 t の二酸化炭素排出量削減が見込まれる。

本プロジェクトでは、火力発電により生み出された電力を利用し、発電所からの距離が遠い為、送電時の電力ロスが大きく生じていたこの地方に、再生可能なエネルギーを生み出す水力発電所を設置したことで、化石燃料の使用量が削減され、2010 年までに合計 280,179tCO₂e の排出量削減が見込まれている。

7. 販売価格・消費者への価格負担

各宿泊施設毎に異なる。

8. カーボン・オフセットを行ったと主張できる主体

伊香保温泉旅館協同組加盟旅館・ホテルの宿泊者